

変更

農業競争力強化基盤整備事業

土 地 改 良 事 業 計 画 書

下 保 木 地 区
山 口 県

※2段書き上段の括弧書きは変更前

土 地 改 良 事 業 計 画 書

第1章 目的	1	4 主要作物作付状況	16
		5 農業の動向	17
第2章 地域及び地積	1	第6節 地域環境の概況	17
第1節 地域	1		
第2節 地積	1	第4章 一般計画	18
第3章 現況	2	第1節 事業計画の要旨	18
第1節 気象及び海象	2	1 要旨	18
1 一般気象	2	2 事業別面積	18
2 特殊気象	3	第2節 営農計画及び土地利用計画	19
3 海象	3	1 営農計画の概要	19
第2節 土地状況	4	2 土地利用区分	19
1 地形、土壌及び浸食の程度	4～5	3 作付方式	20
2 土地分類	5	4 生産計画	21
3 土地利用の状況	6	5 労働改善計画	22
4 土地所有の状況	6	6 級地別土地利用区分	23
第3節 水利状況	7	7 土地配分計画	24
1 用水状況	7～10	第3節 用水計画	25
2 排水状況	10～12	1 計画基準年	25
3 河川状況	13	2 計画かんがい方式	25
第4節 道路現況	13	3 計画用水系統	25
1 道路概況	13	4 計画用水量	25～26
2 主要道路一覧表	13	5 水源計画	27～30
第5節 地域農業の概況	14	第4節 排水計画	31
1 産業別就業人口	14	1 計画基準雨量	31
2 経営耕地広狭別農家数及び 耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	14	2 計画排水方式	31
3 動力農機具及び主要家畜頭数	15	3 計画排水系統	31
		4 計画排水量	31
		5 排水対策	32～33

6 湛水検討	33	第2節 排水施設	44
第5節 道路計画	34	1 排水水門	44
1 道路及び索道	34	2 排水機	44
2 路線配置図	34	3 排水路	45
第6節 農用地造成計画	35	4 その他排水施設	45
1 農用地造成計画	35	第3節 道路及び索道	45
2 土壌改良	35	1 道路	45
第7節 洪水調節計画	36	2 索道	46
1 計画基準雨量	36	第4節 農用地造成	46
2 計画洪水量及び調節量	36	1 農用地造成工	46～47
3 貯水池	36	2 土壌改良	47
4 洪水調節検討	37	第5節 洪水調節施設	48
5 管理計画	37	1 貯水池	48
第8節 干拓計画	37	2 頭首工及び導水施設	48
第9節 農用地整備計画	38	第6節 干拓施設	49
1 区画整理	38	1 堤防	49
2 暗渠排水	39	2 潮止め	49
3 客土	40	3 付属施設	49
4 農地保全	40～41	4 埋立	49
第10節 老朽ため池改修計画	41	第7節 農用地整備施設	49
1 洪水吐改修計画	41	1 区画整理	49～50
2 堤体補強計画	41	2 暗渠排水	50～51
3 取水施設改修計画	41	3 客土	51
第5章 主要工事計画	42	4 除礫	51
第1節 用水施設	42	5 農地保全	52
1 貯水池	42	第8節 老朽ため池改修施設	53
2 頭首工	42	1 貯水池	53
3 揚水機	43	2 堤体補強施設	53
4 用水路	43	第6章 附帯工事計画	54
5 その他かんがい施設	43		

第7章	工事の着手及び完了の予定時期	54
第8章	環境との調和への配慮	54
第9章	換地計画の概要	55
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	55
第2節	換地区の設定	55
1	換地区の名称・所在・面積	55
2	換地区を設定する理由	55
第3節	換地計画樹立の基本方針	55
1	従前の土地の面積の基準	55
2	用途別予定地積	56
3	農用地集団化の方針	56
4	非農用地の換地方法	57
第4節	土地の評価及び清算の方法	57
1	評価の方法	57
2	清算の方法	57
第5節	換地計画樹立の年度計画	57
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	57
第10章	事業費の総額及び内訳	58 ～59
第11章	効用	60
第12章	関連する事業	61
第13章	現況・計画図面	61
1	現況平面図	61
2	計画平面図及び土地利用計画図	61
3	主要構造図	61

第1章 目 的

下保木地区は、県営ほ場整備事業 豊東地区（S58～H12）に生産基盤の整備に取り組み、地域の担い手として設立された農事組合法人が中心となって地域の農業を支えている。

農業経営の安定化を図るため、土地利用型作物の栽培に積極的に取り組んでいるが、生産基盤整備を実施したほ場の一部で、表面水や浅層水が早期に排除できないため、畑作物の生育障害や農業機械の走行性低下が発生している。

このような課題は、農事組合法人への農地集積、土地利用率の拡大を図るうえでの大きな阻害要因となっていることから、早急に阻害要因を除去する対策が必要である。

このため、地下水位制御システムを導入することにより、土地利用拡大を図る上での阻害要因の除去し、畑作物の生産拡大を図ることで、農業経営の拡大と効率的な営農を実現する。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

（第1表）

事業名	地 域
農業競争力強化基盤整備事業	山口県下関市菊川町大字下保木 地内

第2節 地 積

（（平成28年12月現在））

（令和 7年 1月現在）

（第2表）

事業名	現況地目	田	畑	樹園牧草地	山林原野	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業競争力強化 基盤整備事業	下関市	(45.0) 44.3	0.1	—	—	—	(45.0) 44.4	暗渠排水
合計		(45.0) 44.3	0.1	—	—	—	(45.0) 44.4	

※端数処理のため、計が一致しない箇所がある

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表－1)

観測所名	下関	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	(昭和51年～平成27年) 昭和59年～令和5年	4月～9月	10月～3月		
平 均 気 温 (℃)		(22.2) 22.5	(11.1) 11.4	(16.1) 16.4	
降 水 量	平 均 (mm)	(1,201 (200)) 1,206 (201)	(502 (84)) 493 (82)	1,703 (142) 1,699 (142)	() は月平均
	基 準 年 (mm)	1,615	(190) 578	(1,805) 2,193	昭和60年(最大日雨量1/10年相当年)
降水日数	平 均 (日)	(65 (11)) 64 (11)	60 (10)	(125 (10)) 124 (10)	() は月平均
	基 準 年 (日)	57	(37) 78	(94) 135	昭和60年(最大日雨量1/10年相当年)
根 雪 期 間		—			
無 霜 期 間		—			
最 多 風 向		(3.5) 2.5 m/s (東南東) 北西	4.7 m/s 西	(4.4) 3.0 m/s (西) 北西	最多風向発生時期 — 最大風速発生時期 —

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
下関																
観測期間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
(S30 年 ~ H27 年) S30 年 ~ R5 年																
最大日雨量 (mm)	(174.0) 186.5	(S55.7.1) R3.8.14	(1/30.3) 1/40.3	(174.0) 184.0	(H24.7.14) H30.7.6	(1/30.3) 1/35.1	(172.5) 174.0	(H7.7.2) S55.7.1	(1/27.6) 1/20.6	(171.5) 174.0	(S30.4.15) H24.7.14	(1/25.9) 1/20.6	(163.5) 172.5	(S60.6.23) H7.7.2	(1/16.0) 1/19.0	
最大時間雨量 (mm)	71.0	H16.9.16	(1/47.8) 1/37.1	71.0	H24.7.14	(1/47.8) 1/37.1	(64.5) 65.5	(H15.7.19) H27.8.25	(1/24.0) 1/20.3	(60.0) 64.5	(H18.7.4) H15.7.19	(1/15.0) 1/18.3	(60.0) 64.0	(H25.7.3) R1.7.18	(1/15.0) 1/17.3	
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	605.0	S60.6.21	(1/93.6) 1/118.0	470.0	H7.6.30	(1/21.6) 1/22.8	434.0	S54.6.25	(1/14.6) 1/14.8	430.0	S61.7.4	(1/14.0) 1/14.2	423.0	S56.6.25	1/13.0	
最大連続干天日数 (日)	31.0	S35.7.11	(1/137.3) 1/73.6	(29.0) 31.0	(H6.7.28) R2.11.23	(1/71.4) 1/73.6	29.0	(H9.10.6) H6.7.28	(1/71.4) 1/42.5	(24.0) 29.0	(H2.7.17) H9.10.6	(1/14.4) 1/42.5	(23.0) 29.0	(S48.7.4) H28.7.18	(1/10.6) 1/42.5	

3 海 象

(第3表-3)

観測所名	—	既 住 最 高 潮 値 (m)	さく望平均 満 潮 位 (m)	上下弦平均 満 潮 位 (m)	平 均 潮 位 (m)	上下弦平均 干 潮 位 (m)	さく望平均 干 潮 位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観測期間	一年 ~ 一年								
実 測 値		— ()	—	—	—	—	—	— ()	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高 (m)		備 考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15° 8° ～ 10° 10° ～ 15° 8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農 業 競 争 力 強 化 基 盤 整 備 事 業	面積 (ha)			(45.0) 44.3			(45.0) 44.3	0.1							0.1	26.0	8.0	暗渠排水
	比率 (%)			100.0			100.0	0.0							0.0			
	合計	面積 (ha)			(45.0) 44.3			(45.0) 44.3	0.1							0.1		
	比率 (%)			100.0			100.0	0.0							0.0			

(第4表-1-2)

土 壤 統 (区) 名	項 目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考	
		土 壤 断 面							表 堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
		色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及 ビ グ ラ イ 層	農 業 競 争 力 強 化 基 盤 整 備 事 業		計
						表土	下 層 土							
檜原田統 (檜原田)		灰色	なし	なし	糸根、管 状含～富	粘質	粘質	一	80cm までにはなし	水積	非固結 水成岩	(45.0) 44.4	(45.0) 44.4	暗渠排水
計												(45.0) 44.4	(45.0) 44.4	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 侵 食 の 程 度				備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中 程 度 の	大 なる も の			
	面積 (ha)													
	比率 (%)													

2 土地分類

(第4表-2-1)

級地別 市 町 村 名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考	
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地				
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
計														

(第4表-2-2)

級 地 別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3 土地利用の状況

((平成28年12月現在))
(令和 7年 1月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 他 園 の 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
農業競争力強化 基盤整備事業	下関市	(45.0) 44.3	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(45.0) 44.4	暗渠排水
	計	(45.0) 44.3	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(45.0) 44.4	
合 計		(45.0) 44.3	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(45.0) 44.4	

※端数処理のため計が一致しない箇所がある

4 土地所有の状況

((平成28年12月現在))
(令和 7年 1月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別	個人有地	市有地	県有地	国有地	計	備 考
農業競争力強化 基盤整備事業	面 積 (ha)	(45.0) 44.4	—	—	—	(45.0) 44.4	暗渠排水
	受益者数 (人)	(45) 18	—	—	—	(45) 18	
	筆 数 (筆)	(212) 221	—	—	—	(212) 221	
	権利関係	(所有権) 所有権・賃借権・使用貸借権	—	—	—	(所有権) 所有権・賃借権・使用貸借権	
	備考(関係戸数)	(45) 18	—	—	—	(45) 18	
計	面 積 (ha)	(45.0) 44.4	—	—	—	(45.0) 44.4	
	受益者数 (人)	(45) 18	—	—	—	(45) 18	
	筆 数 (筆)	(212) 221	—	—	—	(212) 221	
	権利関係	(所有権) 所有権・賃借権・使用貸借権	—	—	—	(所有権) 所有権・賃借権・使用貸借権	
	備考(関係戸数)	(45) 18	—	—	—	(45) 18	

第3節 水利状況

1 用水状況

(1) 用水系統

二級河川木屋川水系支流と周辺からのため池及び溪流水を水源として、開水路によりかんがいしている。

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

（第8表-1）

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		30ha以上		10～30ha		10ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s		
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他 溪流														
	計														
合計															

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は 更 新 年	改 修 を 必 要 と する 理 由	備 考
	施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は 更 新 年	改 修 を 必 要 と する 理 由	備 考
	貯 水 池							
	井 堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量				平 均 減 産 量		備 考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		(t)		
				平 均 (m ³ /s)	基 準 年 (m ³ /s)	平 均 (m ³ /s)	基 準 年 (m ³ /s)	作物名	減産量	
									(t)	
	計									
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい 面積 (ha)	水 温 (°C)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(4) ため池施設決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備 考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
	計										
合 計											

2 排水状況

(1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備 考
			1000ha以上		1000未満～5000ha		5000ha未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自 然	排 水 路											
		水 門											
	機 械	排 水 機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合 計													

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表－5)

事業名	項 目		施 設 名 又 は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又 は 更 新 年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	施 設 名								
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項 目 系統名	排水面積 (ha)	降 水 量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均		備 考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		減 産 量		
															作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合 計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項 目 河川名	流路状況	勾 配	断 面	計 画 洪 水 量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農 用 施 設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額					

第4節 道路現況

1 道路概況

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表－1)

項 目	総 数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不 動 産 業	サー ビス業	公務	その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
下関市	(128,223) 118,929	(5,577) 4,122		(838) 533	(38) 52	(10,137) 9,260	(20,589) 18,547	(720) 655	(9,777) 8,404	(22,270) 18,849	(3,745) 3,093	(1,764) 1,991	(45,337) 46,291	(4,657) 4,266	(2,774) 2,866	((平成26～27年 山口県 農林水産統計年報)) 国勢調査(令和2年)
計	(128,223) 118,929	(5,577) 4,122		(838) 533	(38) 52	(10,137) 9,260	(20,589) 18,547	(720) 655	(9,777) 8,404	(22,270) 18,849	(3,745) 3,093	(1,764) 1,991	(45,337) 46,291	(4,657) 4,266	(2,774) 2,866	
比率(%)	100.0	(4.3) 3.5		(0.6) 0.4	(0.0) 0.1	(7.9) 7.8	(16.1) 15.5	0.6	(7.6) 7.1	(17.4) 15.8	(2.9) 2.6	(1.4) 1.7	(35.4) 38.9	3.6	(2.2) 2.4	

※各項目における比率は端数調整を行っている

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表－2)

区分 市町村名	農家総戸数 販売農家 自給的農家 (戸) (戸) (戸)			経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)												1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕 地 の 分散状況		専兼業別 農家数(戸)			備 考
				耕地なし	0.3 ～ 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 以上	計	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当 た り 団 地 数	団地 当 た り 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
																									第一種	第二種	
下 関 市	(4,581) 3,521	(3,452) 2,488	(1,129) 1,033	(27) 21	(181) 170	(544) 402	(1,178) 852	(738) 526	(414) 253	(263) 193	(146) 118	(63) 51		(21) 26	(3,608) 2,645	(1.4) 1.1	(0.3) 0.1		(1.7) 1.2		(1.7) 1.2			(1,224) —	(315) —	(1,913) —	
比率(%)	100.0	(75.4) 70.7	(24.6) 29.3	(0.7) 0.8	(5.0) 6.4	(15.1) 15.2	(32.7) 32.2	(20.5) 19.9	(11.5) 9.6		(4.0) 4.5	(1.7) 1.9	(0.9) 1.2	(0.6) 1.0	100.0	(82.4) 91.7	(17.6) 8.3		100.0		100.0			(35.5) —	(9.1) —	(55.4) —	

(山口農林水産統計年報（平成26～27年）)
中国農林水産統計年報（令和5年）

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項 目	動 力 農 機 具						主 要 家 畜								備 考		
		農用トラクター		田植機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚			採卵鶏	
		数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)			数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)		数量 (羽)	戸数 (戸)
下関市		(2, 846) －	(2, 779) －	(4, 133) －	(3, 725) －	(2, 657) －	(2, 595) －			(1, 638) 1, 201	(34) 23	(1, 716) －	(116) 70		(－) 1	(200, 175) 5, 293	(11) 7	
1 0 0 戸 当 た り 数 量 (台、頭)		(102) －		(111) －		(102) －				(4, 818) 5, 222		(1, 479) －				(1, 819, 773) 75, 614		
利 用 戸 数 合 割 (%)		(60. 7) －		(81. 3) －		(56. 6) －				0. 7		(2. 5) 2. 0			－	0. 2		(総農家戸数 4, 581戸 (P14参照)) 総農家戸数 3, 521戸 (P14参照)

(2010年農林業センサス)
2020年農林業センサス

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			下関市				計	平 均	作付率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			(6, 470) 7, 200				(6, 470) 7, 200	(6, 470) 7, 200		
総 本 地 面 積 (ha)			(5, 900) 5, 670				(5, 900) 5, 670	(5, 900) 5, 670		
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当 たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当 たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当 たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水 稻	(3, 670) 3, 120	(500) 525			(3, 670) 3, 120	(500) 525	(62. 2) 55. 1	
	裏作	麦	(－) 282	(－) 264			(－) 282	(－) 264	(－) 5. 0	
	小 計		(3, 670) 3, 402				(3, 670) 3, 402		(62. 2) 60. 1	
畑	春夏作	大豆	(－) 96	(－) 66			(－) 96	(－) 66	(－) 1. 7	
	秋冬作	野菜類	－	－			－	－	－	
	小 計		－				－		(－) 1. 7	
樹園地	なし		－	－			－	－	－	
			－	－			－	－	－	
	小 計		－				－		－	
計			(3, 670) 3, 498				(3, 670) 3, 498		(62. 2) 61. 8	
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)			(62. 2) 61. 7				(62. 2) 61. 7			

*作物は主要作物を記載。

(山口農林水産統計年報(平成26～27年))

中国農林水産統計データ集(令和5年)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	(89) 86	(76) 66	耕 地	(90) 89	(91) 72	水 稻	(96) 89	94	乳 用 牛	(96) 97	(94) 73	農用トラクター	(56) 82	(56) -		(A：平成 22年 (2010年農林業センサス)) A：令和 2年 (2020年農林業センサス) (B：平成 17年 (2005年農林業センサス)) B：平成 27年 (2015年農林業センサス) (C：平成 12年 (2000年農林業センサス)) C：平成 22年 (2010年農林業センサス)
	専業農家数	(104) 97	(104) -	田	(90) 91	(89) 73	大豆	(107) 110	(117) 119	肉 用 牛	(76) -	(49) -	動力田植機	(86) 79	(75) -		
	第一種兼業農家数	(79) 60	(85) -	畑	(86) 80	(92) 87				豚	-	-	コンバイン	(91) 79	(80) -		
	第二種兼業農家数	(85) 79	(66) -	樹園地	(92) 54	(129) 36				鶏	(-) 136	(-) 264					
変化の理由	高齢化による減少			耕作放棄地の増加による減			転作による水稻の減			後継者不足による減			(大型機械化による減) -				

第6節 地域環境の概況

実施区域である下関市では田園環境マスタープランを策定し、地域環境の保全に努めることとしている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

農事組合法人をはじめとする中心経営体の農業経営の拡大と効率的な営農の実現を目指す。

具体的な整備目標としては以下のとおりである。

- ・排水不良を改善し、土地利用の選択性を拡大するための地下水位制御システムを導入する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業競争力強化基盤整備事業																計	備考
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	……	小計	水田	普通畑	果樹園	……	小計	水田	普通畑	牧草畑	……	小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	
暗渠排水	(45.0) 44.3	0.1	—	—		(45.0) 44.4	—	—	—		—	—	—	—		—	(45.0) 44.4	暗渠排水
計	(45.0) 44.3	0.1	—	—		(45.0) 44.4	—	—	—		—	—	—	—		—	(45.0) 44.4	

※端数処理のため計が一致しない箇所がある

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

農事組合法人をはじめとする中心経営体が経営するほ場の一部では、表面水や浅層水が早期に排除できないため、畑作物の生育不良や農業機械の走行性低下が発生している。

中心経営体が目指す効率的な土地利用を可能とするため、排水不良が発生している水田に地下水位制御システムを導入する。

(大豆・小麦・キャベツ・たまねぎ)

これにより排水不良を解消して地下水位制御により大豆・小麦・キャベツの生産量拡大を図り、経営規模拡大を促進する。

そして中心経営体への農地集積を促進し、農業の持続的発展を目指す。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業競争力強化基盤整備事業	現況	(45.0) 44.3	0.1	-	-	-	-	(45.0) 44.4	-	-	-	(45.0) 44.4	暗渠排水
	計画	(45.0) 44.3	0.1	-	-	-	-	(45.0) 44.4	-	-	-	(45.0) 44.4	
	現況												
	計画												
	現況												
	計画												
計	現況	(45.0) 44.3	0.1	-	-	-	-	(45.0) 44.4	-	-	-	(45.0) 44.4	
	計画	(45.0) 44.3	0.1	-	-	-	-	(45.0) 44.4	-	-	-	(45.0) 44.4	

※端数処理のため計が一致しない箇所がある

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項 目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備考	
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
農業競争力強化基盤整備事業	現 況	水稲	輪換耕地						△				×						△				×								△				×						
		大豆	輪換耕地						⊖					×					⊖					×							⊖					×					
		小麦	輪換耕地					×				⊖						×					⊖							×					⊖						
		キャベツ	輪換耕地				×				⊖						×						⊖							×					⊖						
		たまねぎ	輪換耕地				×					△				×							△						×							△					
	計 画	水稲	輪換耕地						△				×						△				×								△				×						
		大豆	輪換耕地						⊖					×					⊖					×							⊖					×					
		小麦	輪換耕地					×				⊖					×						⊖							×					⊖						
		キャベツ	輪換耕地				×				⊖					×							⊖							×					⊖						
		(たまねぎ)	輪換耕地					×					△				×							△						×						△					
		—	輪換耕地					—								—														—							—				

※作付体系の表示
 播種 ○—○
 移植 △—△
 収穫 ×—×

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり 収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単 位 面 積 当たり収量 増 加	
農 業 競 争 力 強 化 基 盤 整 備 事 業	輪 換 耕 地	表作	水 稻	(33.5) 33.3	(25.9) 27.2	(△ 7.6) △ 6.1	(81.9) 81.6	(63.3) 66.7	(501) 516	(516) 531	15	(167.8) 171.8	(133.6) 144.4	(△ 34.2) △ 27.4	(△ 7.6) △ 6.1	0.015	
			大 豆	(7.4) 7.5	(15.0) 13.6	(7.6) 6.1	(18.1) 18.4	(36.7) 33.3	(99) 74	(102) 122	(3) 48	(7.3) 5.6	(15.3) 16.6	(8.0) 11.0	(7.6) 6.1	(0.003) 0.048	
		裏作	小 麦	(4.0) 3.9	(14.0) 16.9	(10.0) 13.0	(9.8) 9.6	(34.2) 41.4	(231) 266	(238) 460	(7) 194	(9.2) 10.4	(33.3) 77.7	(24.1) 67.3	(10.0) 13.0	(0.007) 0.194	
			キャベツ	0.5	(1.5) 3.0	(1.0) 2.5	1.2	(3.7) 7.4	(2,750) 2,676	(2,833) 3,131	(83) 455	(13.8) 13.4	(42.5) 93.9	(28.7) 80.5	(1.0) 2.5	(0.083) 0.455	
			たまねぎ	0.5	(1.5) 0.0	(1.0) △ 0.5	1.2	(3.7) 0.0	(2,920) 3,037	(3,008) 3,493	(88) △ 456	(14.6) 15.2	(45.1) 0.0	(30.5) △ 15.2	(1.0) △ 0.5	(0.088) △ 0.456	
	畑	表作	大 豆	0.1	0.1	0.0	100.0	100.0	(99) 74	(102) 122	(3) 48	0.1	0.1	0.0	0.0	(0.003) 0.048	
	計				(46.0) 45.8	(58.0) 60.8	(12.0) 15.0	(112.2) 111.9	(141.5) 148.6	—	—	—	—	—	(19.6) 15.0	—	
	合 計				(46.0) 45.8	(58.0) 60.8	(12.0) 15.0	(112.2) 111.9	(141.5) 148.6	—	—	—	—	—	(19.6) 15.0	—	

5 労働改善計画

(第9表－4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業競争力強化基盤整備事業	輪換耕地	水稻	(25.9)	人 力	272.20	130.20	△ 142.00	【法人】→【法人】
			27.2	機 械 力	123.00	102.50	△ 20.50	
		大豆	(15.0)	人 力	91.40	76.00	△ 15.40	
			13.6	機 械 力	88.30	73.40	△ 14.90	
		小麦	(14.0)	人 力	85.50	71.30	△ 14.20	
			16.9	機 械 力	82.70	68.80	△ 13.90	
		キャベツ	(1.5)	人 力	823.00	795.40	△ 27.60	
			3.0	機 械 力	220.50	193.30	△ 27.20	
		たまねぎ	(1.5)	人 力	(242.10) —	(210.00) —	(△ 32.10) —	
			0.0	機 械 力	(189.00) —	(157.40) —	(△ 31.60) —	
	畑	大豆	0.1	人 力	91.40	76.00	△ 15.40	
				機 械 力	88.30	73.40	△ 14.90	
				人 力				
				機 械 力				
合 計			(58.0)	人 力	(1,605.60) 1363.50	(1,358.90) 1148.90	(△ 246.70) △ 214.60	
			60.8	機 械 力	(791.80) 602.80	(668.80) 511.40	(△ 123.00) △ 91.40	

6 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分 区分 級地名		農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7 土地配分計画

(第9表－6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	輪 換 耕 地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

該当なし

2 計画かんがい方式

該当なし

3 計画用水系統

該当なし

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水 田 かん が い			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
		事業名			普通期 計単 画位 平均 水量 (mm/日)	代かき期 計単 画位 代用 か水 量 (mm)	面 積 (ha)	一平均 日当 たり 水 計深 画 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	一平均 日当 たり 水 計深 画 (mm/日)	平均 間断 日数 (mm)	面 積 (ha)	計単 画位 平均 水量 (mm/日)	面 積 (ha)			平均	最大	
				計																
計																				

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量 (リットル／日)	最大給水量 (リットル／日)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
		a (千 m^3)	b (千 m^3)	c = a - b (千 m^3)	d = $\frac{c}{(1-\alpha)}$ (千 m^3)		e (千 m^3)	f (千 m^3)	g = c - f (千 m^3)	h = d - e (千 m^3)		(千 m^3)		損失率 : α
(事業名)														
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-2-2)

貯水池名	項 目	流 域 面 積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利 用 回 数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
				事 業 名							
		直 接	間 接	田	畑	計					

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項 目 取水施設名	水 源 地 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ ／ s)		渇 水 量 (m ³ ／ s)	備 考
			事 業 名			最 大	平 均		
			田	畑	計				
計									

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項 目 名 称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量(m³/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名			最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m³ / s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³ / s)	
				計							

(二) 用水路

(第 10 表—6)

<div> <div>項目</div> <div>名称</div> </div>	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
			計				
計							

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水溫水質

該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

該当なし

2 計画排水方式

該当なし

3 計画排水系統

該当なし

4 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	受 益 面 積 (ha)			流 域 面 積 (km ²)		基 準 雨 量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基 底 流 出 量 (m ³ /s/km ²)		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考	
	事 業 名						山 地 平 地		山 地 平 地		山 地 平 地		山 地	平 地			山 地
			計	山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		自然排水	機械排水		
計																	

5 排水対策
(1) 排水水門

(第 1 1 表－2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ / s)	地区内 湛水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ / s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

(第 1 1 表－3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ / s)	地区内 湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ / s)	台 数 (台)	全排水量 (m3/ s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第 1 1 表－ 4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m ³ / s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ / s)	計画洪水位 (m)	
				計							
計											

(4) その他

該当なし

6 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考

(2) 索道

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表－1)

項目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2 土壌改良

(第13表－2)

項目 区分	面 積 (ha)	土 統 (区) 壤 名	p H		置換酸度 (Y ₁)	りん酸吸収 計 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
			H ₂ O	K C l			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有 機 質 資材(t)	

第 7 節 洪水調節計画

1 計画基準雨量

該当なし

2 計画洪水量及び調節量

(第 1 4 表－1)

地 点	流 域 積 (km ²)	洪 水 到達時間 (hr)	計 画 量 洪 水 量 (m ³ /s)	安 全 量 洪 水 量 (m ³ /s)	必 要 量 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピー ク 時 調 節 後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最大流 量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水地

(第 1 4 表－2)

項 目 貯水地名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係
該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討
該当なし

5 管理計画

- (1) 管理機構
該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準
該当なし
- (3) 洪水調節要領
該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	土扱い要否の理	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図

該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区分	面 積 (ha)		土 壌 統 (区) 名	基 準 雨 量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\text{t}}{\text{s}}$ / s /ha)	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備 考
	事 業 名							
	農業競争力強化基盤整備事業							
下保木	(45.0) 44.4		檜原田統 (檜原田)	—	—	0.5	自然排水	地下水位制御システム
計								

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項 目 区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			
計						

3 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当 り客土 量(m³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受益地 (%)	採土地 (客土 材料) (%)	
			計									
計												

4 農地保全
(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	幅 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名 称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量
該当なし

(2) 計画洪水量
該当なし

2 堤体補強計画
該当なし

3 取水施設改修計画
該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1 貯水池

(第 1 7 表－ 1)

名 称				位 置						備 考
堤 体	型 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³)	基盤地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪 水 吐	型 式		洪水量 (m ³ /s)	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放 流 量 (m ³ /s)	

2 頭首工

(第 1 7 表－ 2)

名 称				位 置				備 考
型 式	堤 高 (m)	堤 長(m)		計	取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	附帶施設	
		固 定 部	可 動 部					

3 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位 置	揚水量 (m^3/s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

4 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)	通水量 (m^3/s)	延長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名		開きよ	トンネル	計				
				その他					
計									

5 その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

1 排水水門 (第18表－1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計							

2 排水機 (第18表－2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (mm)	台数 (台)	
計											

3 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要 構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
計									

4 その他排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅 (有効) (m) ×延長 (km)	構造	附帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	個所数 (箇所)	備考

2 索道

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成工

(1) 抜根

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項 目 区 分		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造 成 工 法			
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

項目 区分	面 積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2 土壤改良

(第20表-7)

項 目 区 分	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第 5 節 洪水調節施設

1 貯水地

該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工

(第 2 1 表－1)

名 称			位 置	長 (m)			計画洪水位 (m)	附帯施設	備 考
			堤	固 定 部	可 動 部	計			
型 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)							

(2) 導水路

(第 2 1 表－2)

項 目 水路名	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造					造		原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低			

2 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 附属施設
該当なし

4 埋立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)	幹線パイプ				支線パイプ						地下水位制御システム以下の排水施設			備考
	事業名	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	農業競争力強化 基盤整備事業														
下保木	(45.0) 44.4	—	ポリエチレン管	100	330	—	ポリエチレン管	50～100	0.5	10.0	660	排水路	ベンチフリューム	—	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除 礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工法	備 考
計					

3 客土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

4 除礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除 礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工法	備 考
計					

5 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

項目	幅	延長	面積	樹種	植栽本数	備考
区分	(m)	(m)	(ha)		(本)	
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目	延長	流量	構造	備考
区分	(m)	(m ³ /s)		
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目	構造	数量	備考
区分			

(4) その他施設

(第23表-10)

項目	構造	数量	備考
施設名		(m)	
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なし

(2) 漏水防水工

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当無し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

平成29年5月 着手

(令和 3年3月)

令和 8年3月 完了予定

第8章 環境との調和への配慮

本地区は、環境配慮区域に位置付けられていることより、自然環境や景観との調和に配慮した事業計画に基づき工事を実施する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第 2 節 換地区の設定

1 換地区の名称・所在・面積 (第 2 5 表－ 1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

2 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の面積の基準 (第 2 5 表－ 2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

2 用途別予定地積

(単位 : ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者) 換地区名 前後		非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計	
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施行地域 に含める土地（令 第1条の9（）書き）			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県	市 町 村 他			合 計
						土地 改良 施設	その 他	小計		改 良 区	そ の 他	計		宅 地	そ の 他	計		農 業 施 設 用 地	生 活 上 の 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	宅 地 等	計							
	従前の土地																												
	換 地																												
	従前の土地																												
	換 地																												
	従前の土地																												
	換 地																												
合計	従前の土地																												
	換 地																												

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区 分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

該当なし

2 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一 時 利 用 地 の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

区分 \ 事業名		農業競争力強化基盤整備事業 (千円)		備 考
農業生産基盤整備	暗渠排水	(A=45. 0ha) A=44. 4ha	(333, 000) 459, 500	
	計		(333, 000) 459, 500	
関 連 事 業	農業生産基盤整備附帯事業 侵入防止柵	(L=9, 500m) L=11, 000m	(59, 000) 106, 500	
	計		(59, 000) 106, 500	

(第 2 6 表)

区分 \ 事業名		農業競争力強化基盤整備事業 (百万円)	備 考
主 要 工 事		(333. 0) 459. 5	(2016年度単価) 2024年度単価
付 帯 工 事		—	
計		(333. 0) 459. 5	
関 連 事 業 (参 考)	農業生産基盤整備附帯事業 鳥獣侵入防止柵	(59. 0) 106. 5	
	—	—	
	—	—	
	計	(59. 0) 106. 5	

第 1 1 章 効 用

(1) 年総効果額及び評価期間内の総便益額

(第 2 7 表－ 1)

効果項目	区 分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	現況年総農業所得額	評価期間内の便益額	備 考
作物生産効果		(1,681) 3,298	(1,097) 2,253	(9,332) 10,991	(30,479) 76,333	
営農経費節減効果		(31,401) 24,501	(31,401) 24,501		(569,305) 567,076	
維持管理費節減効果		(Δ 239) △ 382	(Δ 239) △ 382		(Δ 4,336) △ 8,842	
農業労働環境改善効果		(1,305) 1,243			(23,663) 28,770	
国産農産物安定供給効果		(33) 1,791			(596) 41,451	
合 計		(34,181) 30,451	(32,259) 26,372	(9,332) 10,991	(624,043) 704,788	

(2) 評価期間内の総費用 (全体)

(339,326)
624,792 千円 (=③)

(3) 総費用総便益比及び所得償還率 (全体)

(第 2 7 表－ 2)

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	③=①+②	(339,326) 千円 624,792	
当該事業による費用	①	(292,429) 千円 551,017	
その他費用(関連事業+資産価額+再整備費)	②	(46,897) 千円 73,775	
年償還額	④	(1,178) 千円/年 1,702	
うち機能向上分	④'	(1,178) 千円/年 1,702	
年総効果(便益)額	⑤	(34,181) 千円 30,451	
現況年総農業所得額	⑥	(9,332) 千円 10,991	
年増加農業所得額	⑦	(32,259) 千円 26,372	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		(44) 年 49	(4年(H29～R2)) 工事期間 9年(H29～R7)
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	(624,043) 千円 704,788	
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	(1.83) 1.12	≥1.0
総所得償還率	⑩=④÷⑥	(12.6) % (参考) 15.5	≤20.0%(参考値)
増加所得償還率	⑪=④÷⑦	(3.7) % 6.5	≤40.0%

第 1 2 章 関連する事業

(第 2 8 表)

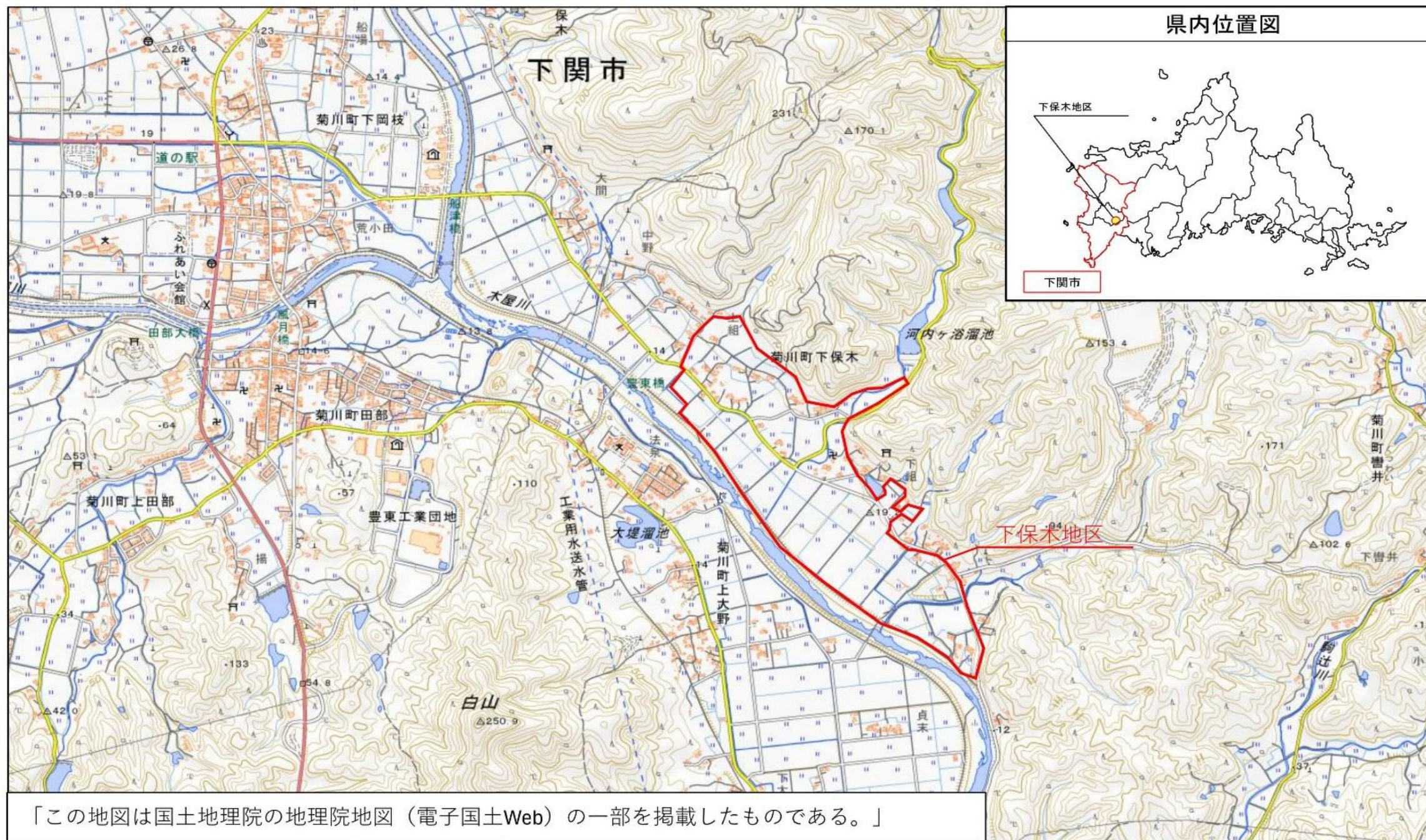
区 分	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第 1 3 章 現況・計画図面

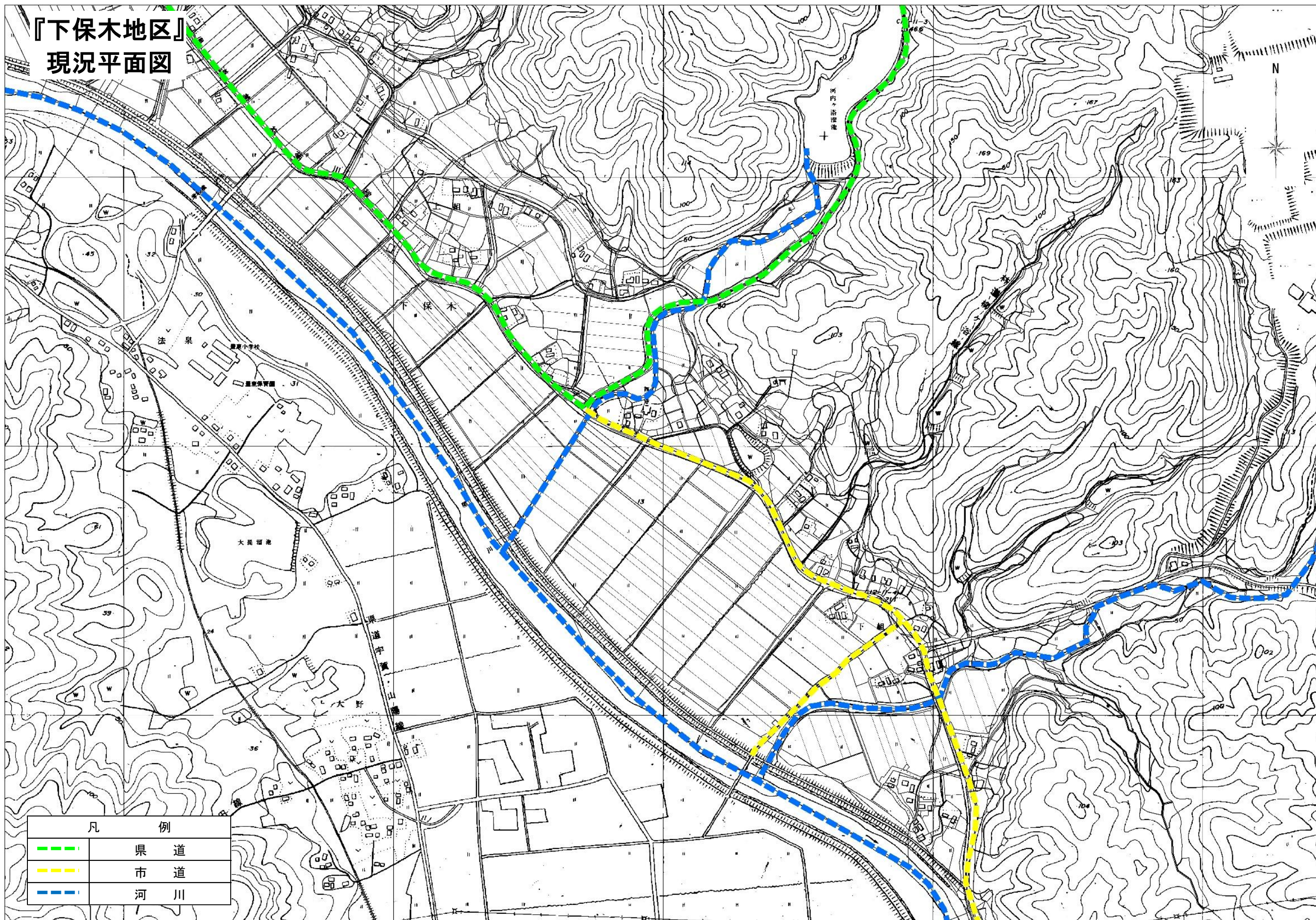
- 1 現況平面図
別添図面のとおり
- 2 計画平面図
別添図面のとおり
- 3 主要構造図
別添図面のとおり

農業競争力強化基盤整備事業 下保木地区 位置図

所在地：下関市菊川町大字下保木 地内

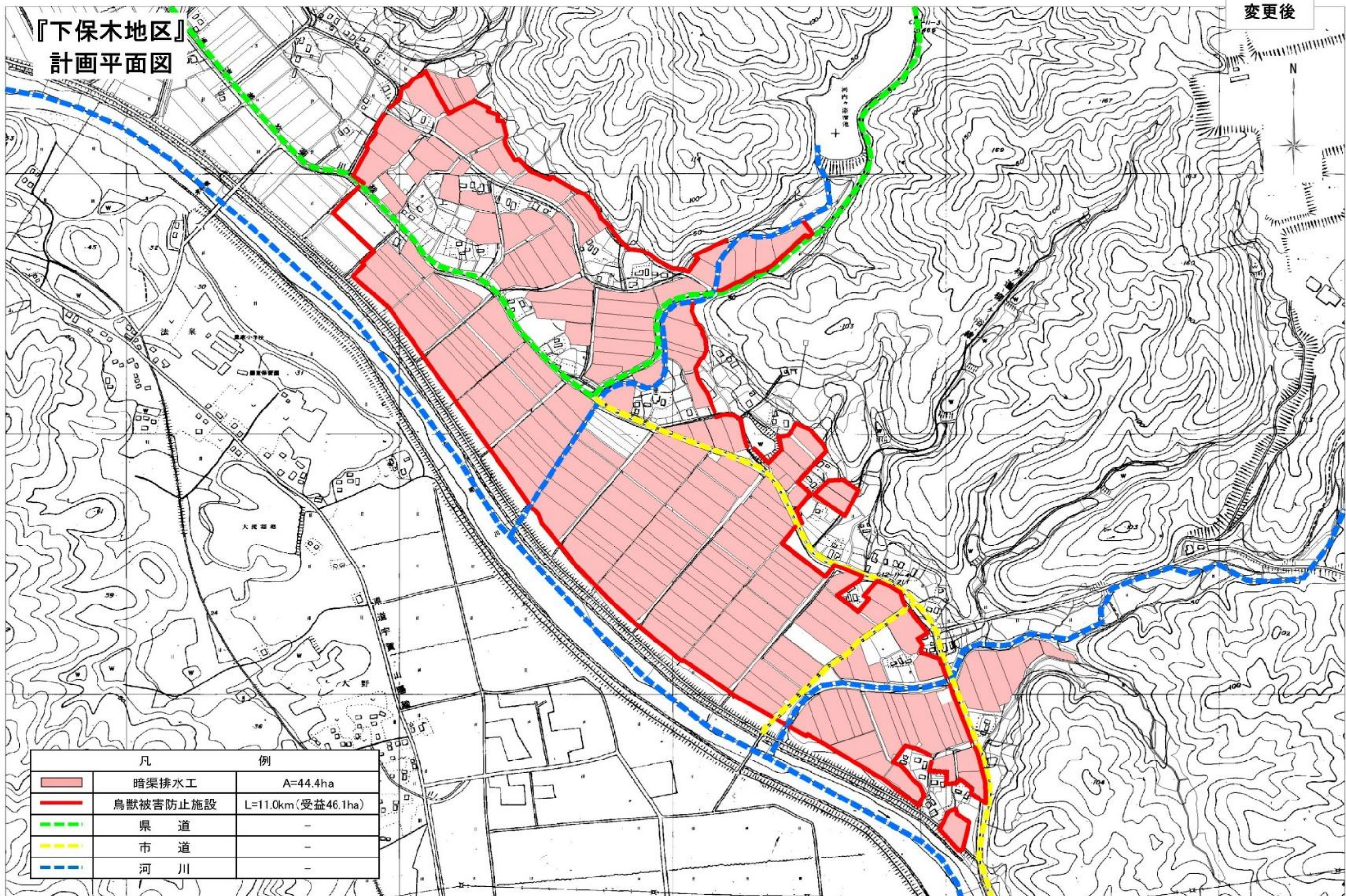


『下保木地区』
現況平面図



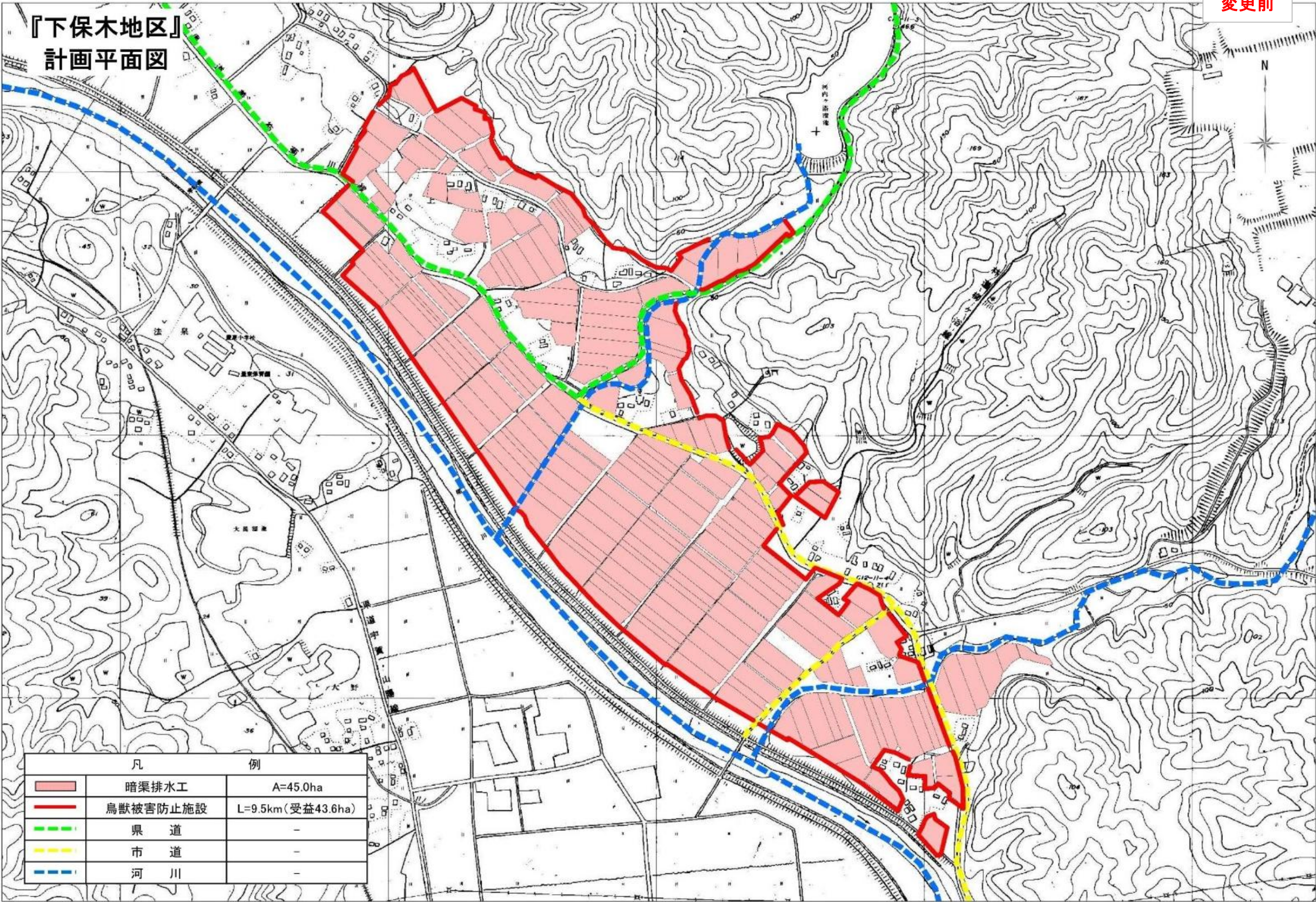
変更後

『下保木地区』
計画平面図



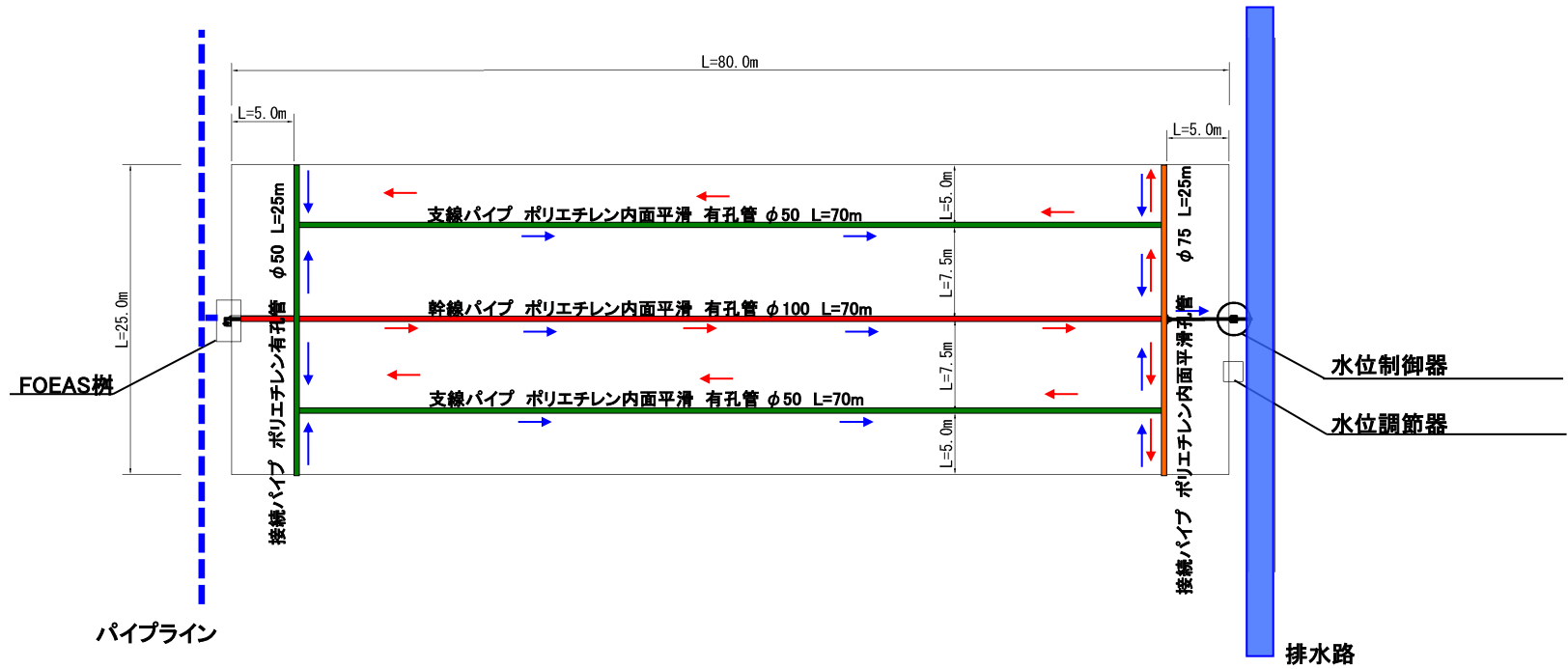
凡 例		
	暗渠排水工	A=44.4ha
	鳥獣被害防止施設	L=11.0km(受益46.1ha)
	県 道	-
	市 道	-
	河 川	-

変更前

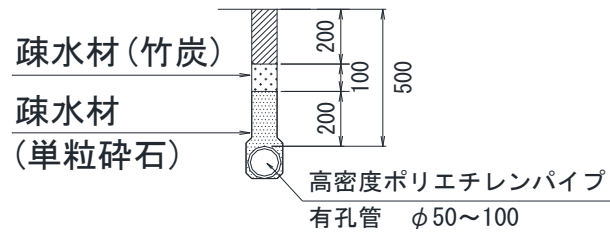


主要構造図 地下水位制御システム

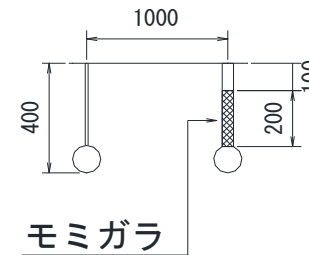
地区名	下保木
路線名	



幹線・支線 断面図



補助工 断面図



凡 例	
→	用水方向
→	排水方向